

(様式3)

平成28年度 学力向上マニフェスト

第二峡田小学校

本年度の指導の重点 (昨年度の成果と課題を踏まえて)	取組の概要 (実施内容)	評価指標 取組指標 (教師側指標) 成果指標 (子ども側の指標)
■読書力を高める取組	読み聞かせ、お薦め本30、50冊、親子読書、調べ学習、始業前読書、全校読書日等の取組を通して読書の機会を増やす。また本年度の重点として「百人一首・俳句づくり」「戦争」を学ぶ本を購入し、課題本とする。	○今年度のお薦め本を選定し、30冊達成90%、50冊達成70%をめざす。 ○教師・学校司書による読み聞かせ・アニメーションを年間30回程度行う。 ○本を活用したプレゼン資料を、各教師がひとつ作成し、人権指導を行う。 ◇一人当たり年間100冊・総貸出数3万冊をめざす。 ◇百人一首詠み・俳句づくりを楽しみ、学年に応じて50~100の暗誦をめざす。
■意欲を高める校長賞・学校賞・努力賞の取組	俳句、人権標語、書き初め、絵画コンクール、絵手紙、表紙コンテスト、本の帯コンテスト、1学年1暗誦等への取組や努力を評価して、各賞を授けて活動意欲をたかめ、その成果を示していく。	○全校及び各学年で5~10のコンクールやコンテストを実施し、その努力を評価して意欲を高める。 ○1学年1暗誦活動は、各学年で内容・達成水準を設定し、全児童が賞を取れるよう指導していく。 ◇様々なコンテストにチャレンジし、i-check「各教科の学力×自己肯定感」の肯定率を3~5%UPをめざす。
■授業力向上への取組	校内研究・研修を計画的・日常的に行い、全教員の授業力及び課題把握・企画力を高めていく。 ・アクティブラーニングを活用した授業づくり ・人権教育を視点とした授業づくり ・人権指導資料づくり ・プレゼン能力の向上 ・学力向上への新たな試み	○全教員が研究授業を行い、外部講師より指導を受け、授業力向上に努める。 ○全教員が人権指導資料、本を活用した児童用プレゼンをそれぞれ作成する。 ◇区学力調査「総合達成率」を各教科70%以上をめざす。また、社会・理科における「正答率40%未満」の児童を10%以下にする。さらに「活用力」5%UPをめざす。 ◇i-check「全校自己肯定感」肯定率を3~5%UPをめざす。
■放課後教室の取組	週一回1・2年生において個別指導が必要な児童に対して放課後教室を実施し、基礎的内容の定着のための指導支援を、教員と支援アシスタントが行っていく。	○週一回、保護者等の学習支援アシスタントとともに、音読、漢字や四則計算の反復練習を行う。 ◇区学力調査における「評定1」の層を30%未満にしていく。